

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県における令和4年度7月～9月期の出荷状況は、県全体で301千t・昨年を2%上回る5千t増となった。県工事が昨年対比マイナス8千tと大きく減少したが、国道工事やネクスコ工事への出荷が昨年を上回る結果となっている。民間需要はほぼ横ばいである。

地区別では上越地区が24千t減（昨年対比61%）、中越地区が3千t減（同97%）、下越地区が29千t増（同121%）、佐渡地区が27千t増（同167%）となっている。

7月～9月期においても原油価格は高値を維持したまま推移したことに加え、為替相場もよりいっそう円安で推移したため、原材料であるアスファルト価格は更に上昇した。また動力費である電気料金の値上げや重油価格（燃料油価格激変緩和措置あり）の高騰に加え、運搬コストの上昇もあって工場経営の環境はさらに厳しさを増した。施工業者に対し発注者に対する単価スライド適用を申請し、適正な価格での合材購入を求めているが、手続きの困難さや工期の障壁などもあって、随時適正な価格に転嫁をしているとは言い難い状況である。今後は設計価格の適正な改正や、長期現場での適正なスライド運用を期待する。

10～12月の動向は官庁発注工事やネクスコ発注工事に対する出荷は昨年並みに順調に推移すると想定されるが、円安や資材高騰もあって民間需要は低調な推移が見込まれ、昨年対比としては減少傾向に転ずるものと推測される。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における令和4年度7月～9月期の出荷状況は、県計で12万4千tで前年同期と比べ7%の減となった。地区別でみると東部地区が7万4千tで10%の減、西部地区が5万tで4%の減となった。

主要材料であるアスファルト価格は為替の影響次第では今後も価格上昇が予想される。

石川県

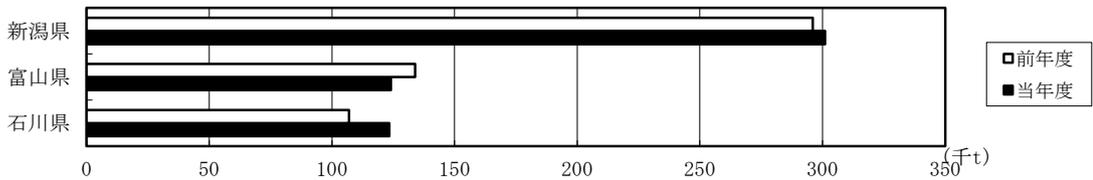
記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における令和4年度7月～9月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比17.0%増、能登地区で前年比11.0%増、石川県全体では前年比16.0%増と昨年同時期に比べ加賀地区、能登地区共に増、石川県全体としても出荷量が増加した。石川県全体としては4月～9月期出荷量は加賀地区で前年比1.7%減、能登地区で0.5%減、石川県全体では1.4%の減少となった。

主要材料であるアスファルト価格は、主要国の景気見通しの不透明感があり、また円安やロシア、ウクライナ情勢も重なり引き続き不安要素が多く余談を許さない状況。

またアスファルト関連の物件について、高速道路や空港関連等一部で需要が増えてはいるが今後の見通しは不透明である。

アスファルト合材出荷量の推移（7月～9月期）



(単位：千t、%)

県	地区	令和3年度 年計	令和4年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	13	▲20	▲38			▲59
		188	39	38			77
	中越	3	24	▲3			▲42
		275	67	92			159
	下越	▲6	2	21			▲45
	525	124	164			288	
佐渡		5	40	75			▲33
		21	7	7			14
県計	0	3	2			▲47	
	1,009	237	301			538	
富山県	東部	7	▲7	▲10			▲51
		287	66	74			140
	西部	▲12	▲10	▲4			▲52
	197	45	50			95	
県計	▲1	▲8	▲7			▲51	
	484	111	124			235	
石川県	加賀	9	▲17	17			▲52
		384	84	99			183
	能登	1	▲15	11			▲53
	87	16	24			41	
県計	5	▲16	16			▲52	
	470	100	123			224	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員32社のうち32社

富山県

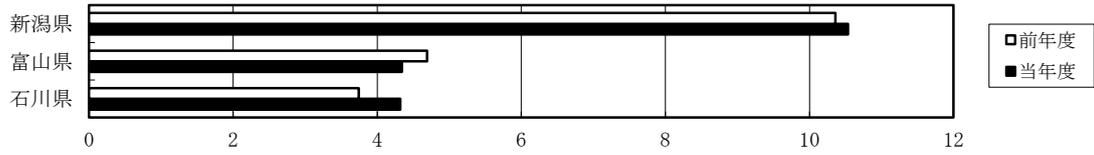
会員14社のうち14社

石川県

会員18社のうち12工場分

◎参考資料

アスファルト出荷量の推移（7月～9月期）



(単位：千t、%)

県	地区	令和3年度 年計	令和4年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	13 6.6	▲20 1.4	▲38 1.3			▲59 2.7
	中越	3 9.6	24 2.3	▲3 3.2			▲42 5.6
	下越	▲6 18.4	2 4.3	21 5.7			▲45 10.1
	佐渡	5 0.7	40 0.2	75 0.2			▲33 0.5
	県計	0 35.3	3 8.3	2 10.5			▲47 18.8
富山県	東部	7 10.0	▲7 2.3	▲10 2.6			▲51 4.9
	西部	▲12 6.9	▲10 1.6	▲4 1.8			▲52 3.3
	県計	▲1 16.9	▲8 3.9	▲7 4.3			▲51 8.2
石川県	加賀	9 13.4	▲17 2.9	17 3.5			▲52 6.4
	能登	1 3.0	▲15 0.6	11 0.9			▲53 1.4
	県計	5 16.5	▲16 3.5	16 4.3			▲52 7.8

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量(千t) = アスファルト合材量(千t) × 3.5%」